

よなごびと

| 第58回 |

オレンジカフェ わだや小路

たぶち のりひこ ようこ
田淵 文彦 さん 恙子 さん



色々な方と

お話しするのが楽しみ

米子市鞆町の「わだや小路」では、週に1回、オレンジカフェが開催されています。オレンジカフェとは、認知症の本人や家族、地域住民が集まり、お茶を飲みながら交流を楽しめる場所です。改装された古民家の落ち着いた雰囲気の中で、会話に花を咲かせたり、のんびり過ごしたり、参加者は思い思いの時間を過ごします。田淵文彦さん・恙子さんご夫婦は、このカフェに約7年前から通っています。

夫の文彦さんは米子市出身で、大阪で小学校の教員として定年まで勤め上げた後、故郷へ帰ってきました。米子では、自治会の会長や少年指導委員、公民館の活動など多忙な日々を送っていましたが、ある日、姪御さんが恙子さんに「文彦さんの様子がいつもと違う」と受診を勧めました。すぐに病院を受診すると、アルツハイマー型認知症と診断されました。



「いつも料理を教えてもらえて楽しい」と恙子さん(写真奥)



当事者同士だからこそ分かち合える話も(左手前が文彦さん)